

昭和34年1月より同年9月までの間
大豊材賊政事情報告

終年慶を迎えましたが、これに定める各種施設事業もその大部分を完了することを得ましたことは一に村議会並に村民各位の温い御支援協力によるもので私の感謝に堪えない所でありませう。特に今回の公表は私の再就任の最初のものでありまずし申し上げる迄もなく村財政の消長は、そのまゝ村民の福祉に直結するものであり、それだけに今後私に課せられた大きな責務としてあります。然し乍ら依然として広範圏の地域と第一次産業(全人口の九三%)を主体とした後進的ならゆ

於ける村財政事情のあらましを述べたのであるが、今期も比較的順調な歩みを経て居ます。一方合併当時策定された新しい村建設計画も最

の公表は昭和三十四年四月一日から同年九月三十日までの上半期に

村長三、谷泉水

財政事情の公表に當つて

報 館
大 豊
発行所
高知県長岡郡
大豊村中央公民館
電話杉55番
印刷所
高知市本丁筋3丁目
みちや印刷所
無料配布

爾來村議會を中心とした村民各位の眞摯な御協力御支援により御承知の如く昭和五十四年度に於いて八、八五四千円、昭和三十二年度に於いて四、六一九千円、昭和三十三年に於いて六、二二三千円の純繰越金の他に財政再建積立金として三十三年度末に一、九五四千円、三十四年九月三十日に於いて累計三、九五四千円を積立し更に従来の再建期間を三十三年度に於いて六年間（三十六年迄）に短縮致しました。然

財政事情の説明

總務課長 渡辺盛男

財政概況

本村は、面積三一六平方杆、人口二〇、七三二人を數える高知県下有数の大規模団体でありますが、合併後旧村時代の事業の過渡施行及び予算外支出等が原因となつて發生した昭和二十九年度末の実質赤字二七、〇七三千圓にして地方財政再建進捗特別措置法の適用を受け昭和三十一年度迄に昭和三十七年年度迄に至る財政再建計畫を樹て二七、〇〇千圓の財政再建債（歳入欠陥補填債）を起して所謂財政再建団体となつた事はすでに三十年度の財政事

る条件下にある本村はあまりにも自主財源に乏しく一歩誤たなか、再び赤字財政に転落する要因を多分に包蔵していることを常に念頭に置かねばなりません。この為村当局と致しましては将来に亘つてあらゆる冗費の節約に努め適正な収入の増加を図り以つて恒久的な健全財政の確立を期する為

泉水

250

發行所
高知県長岡郡
大豊村中央公民館
電話 杉55番
印刷所
高知市本丁筋3丁目
みちや印刷所
無料配布

のあります。また、たつて運営されてきた昭和三十四年度上半期（四月／＼九月）の財政事情は次の通りであります。

(一) 昭和三十四年度五ヶ月末現在に於ける収支の状況は、別表一の通りであります。即ち予算額に対して収入は、四七・七％（前年度同半期五七・七％）の七一・七二半期五七・七％）の七一・七二半期五七・七％）の七一・七二半期五七・七％）の七一・七二半期五七・七％）の七一・七二

対して支出は、予算額に対し四六・九％（前年度同半期四五・五％）の六九・三八八八八を差引、三五五千万円計現金を有します。従つて一時借入金はありません。

つゝある財政再建債は、昭和三十三年に發行し、昭和三十四年度に於いて七、一九三千元を要しこの内六、五五九千円は、一般財源である爲に村行政の各般に亘つて大きな影響を及ぼすものである事を常に念頭におかねばなりません。ななわちこの額は第一次産業（農業）を主体とした後進地の大きい木材に於いては、村民税の收入に匹敵し全村稅收入額の十六%を占めています。若しこれを投資的經費に充當すれば一三、〇〇〇千円の事業が可能となります。この事は、換言すれば財政再建期間中再建債の償還の爲に消費的經費は勿論、投資的經費の削減も止むを得ないと云えるの

にあらゆる努力を傾倒致すべく決意を新たにすると共にこれに併行して新村の一体化村民の所得、生活水準の上昇を促進する為の積極的な施策を講ずるために新村建設計画（三十三年に十七年迄）を調整し力強くこの推進を期して居ります村民各位の一層の御協力御支援を期待して止みません

居ます。このことは、合

(三) 收入及支出の月別
の状況をみますと別表三
のとおり、概ね順調に行つた

主要事業の状況は別表2
通りであります。財政再建
計画による投資的経費は、
二九、三二二千円であり
ますが、現在予算化され
るものは、二七、九七五
円で九月末現在で二八%
七、六九六千円が執行さ

六二一千元と大巾に減額
れることになります。

むすび

村民各位の温い御援助
より本村財政は御説明申
上げました如く順調な歩
を続けつゝありますが、
歩調れば再び赤字になる
因を余りにも多く含んで
ます。私共は本村の輝し
将来を信じ現下の困難を
服し一意村財政再建の完
に邁進すること期して
ます。切に御協力御支援
程お願い申し上げます。

内は、国有鉄道用地（旧
庫）を無償払下げを受け
田一反二、山林四反九一八
〇四歩、山林四反九一八
の財産を得ました。又東
永及大田口保育所の公立
および建物三〇五坪の増
来いたしました。

(五) 村債及び一時借
金の状況は、別表五の通
です。現債額四八、六九
千円でその内訳は、財政
建債が約三十一％の一六
一六五千円となつていま
す。公債費の支出最高の年
は三十六年度です。本年
は一、一八七千円、三年
度、一、一八八千円
三十六年度にて、六四三
十七年度は、財政再建
の償還がなくなる為に五

画が、本年度で終了し新に第2次新村建設計画が整えられ、これに基づいて軌道に於ける急遽な支がなかつたこと等により、村財政の運営が比較軌道にのり運営され、従て資金の一時借入に頼るものがなくなつたことによるものと考へます。

(四) 村有財産の状況

別表四の通りです。本

出

合	予 す 人
---	-------------

項に對 主民一 項	附 記
-----------------	-----

別表 1	
収	
費 目	予 算 額

債。千、五度度す、再ハリ入。を化豊歩五た穴

昭和34年度予算の収入及支

入

収入歩合	予算額に 対する 住民 1人当 額	附 記	費
------	-------------------------------	--------	---

出の状況

目	予算額	支出済額
---	-----	------

別表 1 昭和34年度予算の収入及支出の状況

(昭和34.9.30現在)

入 収					出 支						
費 目	予 算 額	収入済額	収入歩合	予算額に 対する住民 1人当額	附 記	費 目	予 算 額	支出済額	支出歩合	予算額に 対する住民 1人当額	附 記
	千円	千円	%	円			千円	千円	%	円	
1. 村地公営	37,404	18,324	49	1,805		1. 議役	1,971	945	48	95	
2. 方金業財	22,299	17,657	79	1,076		2. 会場防	20,365	9,122	45	933	
3. 金業財	63,124	31,626	50	3,046		3. 費費費	1,998	857	43	96	
4. 金業財	0	0	0			4. 費費費	6,837	552	81	33C	
5. 金業財	0	0	0			5. 費費費	20,905	9,518	46	1,009	
6. 金業財	2,456	1,227	50	119		6. 費費費	7,220	2,548	35	348	
7. 金業財	5,886	808	14	284		7. 費費費	1,327	697	53	64	
8. 金業財	4,433	1,353	31	214		8. 費費費	10,574	2,262	21	510	
9. 金業財	601	0	0	29		9. 費費費	62,179	33,335	54	3,002	
10. 金業財	9,410	0	0	454		10. 費費費	36	9	25	2	
11. 金業財	2,478	728	29	120		11. 費費費	1,787	1,000	56	86	
12. 金業財	3,500	0	0	169		12. 費費費	11,724	5,771	49	566	
						13. 費費費	4,378	2,752	63	211	
						14. 費費費	300	0	0	14	
合 計	151,591	71,723	47	7,316		合 計	151,591	69,368	46	7,316	

別表 2 昭和34年度に於ける主要事業の状況

(昭和34.9.30現在) (単位千円)

主 要 事 業 名	事 業 費	財 源 (予 算) 内 訳					事業費の 支出済額	支出歩合	摘 要						
		国 補	県 補	起 債	地元負担その他	一般歳入									
新危植村片怒消小忠土農土公保小環土耕 農陰 道舎 田 中 霞 地林 地民育 学環境木地 校 等整 橋防 学 塔 改道 購諸所敷生害害 校衛災災 別改 林 開備 設工 校 建 入整 購設旧 助築 設工 事 費費事 設備設事費費備 入費費 成 成 事 業 費費事 設備設事費費備 入費費 事 業 費費事 設備設事費費備 入費費	5,763	980	2,703	3,200	1,500	500	101	737	13%	3. 31	完成の予定				
	5,443											1,263	48	12. 31	"
	928		80									848	58	3. 31	"
	807											807	0	"	"
	1,465											1,465	0	"	"
	4,080							2,000				580	0	12. 31	完成の予定
	590											590	73	3. 31	"
	2,178											2,178	60	"	"
	1,095											595	0	"	"
	418											418	32	"	"
	991						890	33	"	"					
	515						515	61	"	"					
	100						100	100	9. 30	完 成					
	846						846	67	3. 31	完成の予定					
	500						500	60	"	"					
	134						134	75	"	"					
	1,922	1,090					832	184	96	"	"				
200			28	172	20	10	"	"							
合 計	27,975	2,070	2,783	5,200	2,129	15,793	7,696	28							

別表 3 収入及支出の月別の状況 (単位: 千円)

(單位千四)

月 别	收 入 济 额	支 出 济 额	累 计	摘 要
4	8,873	2,035	6,838	
5	3,038	4,257	5,619	
6	26,490	23,106	8,993	
7	5,691	5,448	9,236	
8	3,169	10,447	1,958	
9	24,472	24,075	2,345	
合 计	71,723	69,368	2,345	

別表 4 村有財産の状況 (昭和34.9.30現在)

(昭和34.9.30現在)

区 分	面 積	増 減 説 明
宅 地	1.178Km ²	
田 畑	130.13 a	国有鉄道用地無償払下による増 12.05a
	852.13 a	15.04a
山 林	55,847.19 a	49.18a
建 物	2.416Km ²	東豊永,大田口保育所の公立化による増 0.101Km ²
合 計	宅 地 1.189Km ² その他 56,829.45 a 建 物 2,416Km ²	

計画樹立が必要

・従来の家畜の飼いは夏の間は草という有難い天然の粗飼料のお蔭で大量の蛋多收、或は量の豊富にあるも普通なものに燕麥、コモ

以上の外青刈飼料として、
寒期の利用は不可ですが最
も普通なものに燕麥、コモ

発展の上から極めて重要な
 役割を果すものと思はれま
 す。
 村視察のため、村議会議員
 一行七名が、十一月四日か
 ら十一月九日までの六日間
 役場、同泉今庄町役場、石
 川県鶴木町役場などへ赴い
 ました。

事務改善による自治優良町にわたつて、福井県上中村視察のため、村議会議員役場、同県今庄町役場、一行七名が、十一月四日か川島鶴木町役場などへ赴

るが来年度は一学年（大杉小卒）八四名、天坪小三

生八四名、天坪小三
一二三名と、るの
坪）を増築すると中学

[illegible]

一教室（延約六〇坪）は必
である。
きな村ではあるが財政は
様におわび申し上げる。

村教育委員長に 秋山正隆氏就任

都築前教育委員長は任期で退職 新委員に 小島清利氏



大豊村教育委員更迭

都築前教育委員の任期満了のため、三谷村長は去る十月四日の村議会に於て小島清利氏(大田口)を任命し、清利氏の同意を得た。新委員を加えた教育委員会は十月八日に会に持ち、委員長及び委員長の職務代理者の任期満了による改選を行い、委員長に秋山正隆氏、委員に八木正甲氏、職務代理者に八木正甲氏を選出した。また同席に於て前委員都築宗氏の功労に對し村長より感謝状と記念品が贈られた。

小島委員略歴
私設大田口消防組頭、西豊村公設消防組頭、同警防団長、同議會議員、同

【写真】右小島氏
左秋山氏

補助的勤務の 拒否は違法

教育長見解

大豊村立小中学校教員66名 本務外業務の拒否を声明

教頭 辞令も返上

大豊村立小中学校、二十四校(含分校)の内、小学校九校、中学校五校の教員六十六名より、勤務評定に關する処分反對のたてつけで、十一月十四日の教育委員会に於て、教育長に「教育委員に對し、本務以外の業務の拒否は違法である」との理由を述べ、勤務評定の拒否を表明した。また同日、教頭(中学校三人、小学校四人)から辞令を返上して来た。この状態でもし勤務評定に提出された十四校の声明書

大宮町(香美)に通ずる 道路開設の陳情を採択

定例村議会は九月三十日から十月三日まで開議され、追加更正予算案など二十一の議案を可決した。その中の追加更正予算案は、大宮町(香美)に通ずる道路開設の陳情を採択した。この道路は、大宮町(香美)と大豊村との間にあり、交通の便が著しく向上するものと見込まれている。また、この道路の開設は、大豊村の発展に大きく貢献するものと期待されている。

☆九月定例村議会☆ 追加更正予算額など 二十一議案を可決

大豊村立小中学校、二十四校(含分校)の内、小学校九校、中学校五校の教員六十六名より、勤務評定に關する処分反對のたてつけで、十一月十四日の教育委員会に於て、教育長に「教育委員に對し、本務以外の業務の拒否は違法である」との理由を述べ、勤務評定の拒否を表明した。また同日、教頭(中学校三人、小学校四人)から辞令を返上して来た。この状態でもし勤務評定に提出された十四校の声明書

大滝、八川、東庵谷を 有畜モデル地区に指定

大豊村では、有畜経営の合理化と振興を図る為、申請のあった十地区より三地区を選び、三十四年度の有畜モデル地区に指定した。指定された地区は、大滝、八川、東庵谷である。この指定は、大豊村の畜産振興に大きく貢献するものと期待されている。

百頭の肉牛を 農協を通じて導入

五反歩以下の農地面積を有する中小農家に収益を得させる目的で、県中小農協連合会を通じて、大豊村に百頭の肉牛を導入する計画が決定された。この計画は、大豊村の畜産振興に大きく貢献するものと期待されている。

＝八ミリ映画＝ 大豊ニュースを制作

村中央公民館
記録と広報活動に役立たせる為、大豊ニュースの制作が決定された。このニュースは、大豊村の発展と振興に関する情報を広く伝える為のツールとなるものと期待されている。

集乳所を 西土居に新築

新農村特別助成事業の一環として、西土居に集乳所の新築が決定された。この集乳所は、大豊村の畜産振興に大きく貢献するものと期待されている。

伊勢湾台風罹 災者に愛の手

去る十五号台風による罹災者に対する救済物資、義捐金を各地区から続々と集め、被災者に届ける活動が行われている。この活動は、大豊村の発展と振興に大きく貢献するものと期待されている。

内職御案内

輸出用手袋の工賃は、一ダース六〇〇円、一ダース七〇〇円(なま)など、内職の需要が高まっている。大豊村では、内職の振興に力を入れている。

村民運動会 大杉地区は 雨中決行

恒例の村民運動会は十一月三日(文化の日)相性の雨で、西豊永、天坪両地区は、それにより延期となった。大杉地区は、雨中決行となった。

軟式野球大会 天坪が優勝

第三回大豊村長杯軟式野球大会は十一月一日、大田口で開催された。天坪が優勝した。

高知県農業試験場山間分場

をよき事、傾斜が十六度位の畑は、畜力をにしても、又小型の耕耘機にしても導入出来ません。耙起は勿論管理作業も作付を横畦に改善すれば充分出来ます。当場の傾斜一七度の南面の畑で畜力、機械力を導入して耙起作業並びに播種作業、除草、中耕、土寄せ等の作業を実施した研究結果を参考迄に記載すれば、第一表の通りであります。

麦作
りでは
は生
産費
はよ
けい
るし
、收
量は
低い
し、

このような成績より見ても、導入はぜひ畜力より機械力の専任が得て大切です。

作業名	耕地	溝作	第一回	第二回	第三回	合計	2ヶ年 率の比
供試条件	耕起	溝作	中耕	土寄	中耕	土寄	
慣行区	六分四〇秒	三分四〇秒	二分五〇秒	二分五〇秒	二分四〇秒	二分八分四〇秒	100
機械力区	六分〇秒	八分四〇秒	三分四〇秒	四分〇秒	四分四〇秒	四分〇秒	100
畜力区	二分三〇秒	八分三〇秒	五分三〇秒	三分五〇秒	五分三〇秒	六分三〇秒	100

供試品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穗長 (cm)	倒伏	二アール当り実重 kg	子実 g	實 質
四国稈九号	四・一五	六・一三	九八・三	五・九	ム	三九・三	七〇〇	中
ユウナギハダカ	四・四	六・三	八八・五	六・〇	ム	三八・一	七五七	上中
赤神力	四・一六	六・三	九九・五	四・七	甚	三九・五	七五七	上中
四国稈十六号	四・一四	六・三	八八・八	四・七	少	四〇・三	六七七	上中
シロシンリキ	四・一五	六・三	九一・四	六・〇	少	四〇・五	七〇七	上中
中国稈八号	四・一五	六・二	九九・四	五・六	中	四九・九	七四八	良

に杉郵便局の窓口で選挙用の「郵便はがき」を買いに来た人の中で、物レイン・コト（新品同様）を忘れ杉郵便局で保管しているの で心当りの方は局へ申出されたいたこと。なお右品の所有者は東豊永地区は西豊永地区の方ではないか

本
山
警
察
署

アメリカは肚の中では、P氏にアメリカをまぜて教育してやろうと思ひ、P氏の方は逆にアメリカの進歩なんか興味はないが「野球の言葉」「ヒット説法」であわよくば軍備皆廢のヒドク積極的な思想を宣伝してはコレヲいふやうな心中ではコレヲ互いに表に出したら交換訪問に成りたつワケがなかつたろう。

で三原則を打診して訪中の
目的をハッキリ行つた方が
ましであるけれ共そういう
ことを考える我々の方が太
体無理であろう。

西峯
笹岡
慶吉

の運命であらう。両巨頭の
ようにえらくない河原の小
石の我々はこうした時代に
どう処すべきであらうか。

未完

北川 松岡 嘉幸

大豊村は旧四ヶ村をふくむ
穴内川の流れは永久に
立つ杉の大杉は神代ながらに
はスキーの梶ヶ峰は招く

年団主催

年一月開催の予定

大豊村の歌

北川
松岡
嘉幸

新しく興りしものの力良し大豊村は旧四ヶ村をふく

干手封令は至つて善と互つたの大形は申代なふつ

石人の胸躍らせて雪積る冬はスキ一の梶ヶ峰は招く

面積三、五平方キロの豊かな名産地として

.....

2000

一、全球大会

昭和三五年一月開催の予定

